

生ごみ、で土づくり

毎日の生活の中で出る生ごみ、一手間かけて堆肥にしてみませんか。堆肥化にはいろいろな方法があり、いろいろ試してみて、自分に一番心地良いやり方を探す事が続けるコツだと思います。

■コンポスト■



- ①土の上(屋外)に設置。
- ②生ごみをいれ、土や枯れ葉をかぶせる。
- ③2の作業を繰り返し、定期的に切り返し作業をする。(ミミズや微生物の力で分解するため空気を送り込む)
- ④いっぱいになったら休ませ、固形物がなくなり黒い土になれば畑などで畑などで利用可能。

■段ボールコンポスト■



- ①段ボールにピートモス、くんたんを入れる。(設置は雨水がかからない場所)
- ②水を切った生ごみを入れ、よくかき混ぜる。好気性菌(空気が好きな微生物)の働きで分解させる。
- ③温度が上昇しなくなったら土へ。種や根に触れないようすれば利用可能。できれば1ヶ月位熟成させると良い。

■密封容器を使って(EMぼかし)■



米ぬかやもみ殻にEM菌と糖蜜、水などを混ぜて作ったEMぼかしで生ごみを、発酵させ堆肥にする。 *EM菌=乳酸菌など数十種類の有用な微生物の共生体

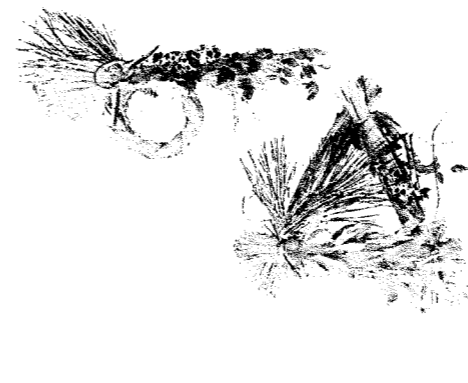
- ① 蓋付きバケツに生ごみ投入後EMぼかしを振りかけ、蓋をして密閉。(室内置き可)
- ② ①を繰り返す。
- ③ いっぱいになったら日の当たらない場所で1週間以上発酵させ土へ埋める。1ヶ月程たつと苗などを植えることができる。

新しく開発された土地に建てた我が家の場合、3年ほどEMぼかしで処理をして、庭の隅々に埋めました。一通り菌が行き渡った現在は大きな穴を掘り、生ごみが出るたびに直接埋めています。枯れ葉がある時は上からかぶせたり、猫が掘り起こさないように、乾燥させた草やみかんの皮を生ごみと土の間に挟むなどしています。埋めた所を1年後に掘り返すと、たくさんのミミズと真っ黒い土が出てきますし、生ごみ堆肥の近くの植物はとても元気に育ちます。

堆肥化にはいろいろな方法がありますが、「堆肥を育てる」という気持ちで、おもしろがって取り組むと楽しく長続きしそうです。優良な堆肥が手に入るだけでなく、ごみの袋に生ごみが入らなければ臭くないし、ゴミの量も減ります。電動式処理機も含めて、生ごみ処理に必要な基材の購入には各市町で補助金を出している場合が多いので、検討される時には調べてみてください。

《Yっち》

稲わら飾りづくりワークショップ°出前講座



12/16、福岡都心、天神のビルの屋上で、ペットボトルを使った米づくりを1年通して体験された「たのしいイネ」というグループのイベントに出向いてきました。「たのしいイネ」では6月に種まきをし、ペットボトルに田植え、育成後、11月には出来たお米を収穫祭で美味しく召しあがったそうです。最後に残った稲藁を使って、お正月の飾りを作ることになり、そのワークショップを担当しました。

会場は博多駅南の山王マンションで開催された、「エンジョイ、レトロビル!リノベーション文化祭」です。こちらの建物は、築45年の古いマンションの内装デザインをリニューアルされ、古さを生かしつつおしゃれな空間に仕上がっています。古い物を大切に思う人が集う文化祭は、アート作品などが蚤の市のように並んでいました。マンションの住人だけでなく、近所の方が気軽に自転車で立ち寄る姿も見られました。

ワークショップでは、3種類の形から好きなタイプを選び、土台を作った後、それぞれの好みで飾り付けをしていただきました。初めての方でもみるみる形になっていく様に、皆さん夢中になって取り組まれていました。藁を曲げやすくする為に、木槌でトントンたたき出すと、他のブースの方ものぞきに來られるなど、和気あいあいした雰囲気でおおいに盛り上がりました。「たのしいイネ」で米作りに参加されていた方たちは、育てた稲で作るのは、嬉しいし楽しいとおっしゃってました。レトロなマンションにも似合う稲わら飾りに出来上がり、皆さん満足されていました。



▲わらでリースを制作中!

《Yっち》

ほっとカフェ マイブームのスムージー

忙しい朝、野菜と果物で作る「飲むサラダ」にはまっています。

■ Kままのおすすめ!

小松菜1株 バナナ1/2本 りんご1/4こ レモン汁小1
水1カップ をミキサーで攪拌するだけ!
これで、3カップくらいできます。

《Kまま》

まつり古賀で ぐりんぐりん&るんるん♪

11/18できたばかりのおしゃれなぼりがはためく、ぐりんぐりん古賀のブースに終日お邪魔して、会員の皆さんや、環境課の職員さんと、ブースへの呼び込みや、寄付のお願いをしました。川魚の展示や、クイズ景品が魅力的だったのか、700人以上のお客さんがありました。展示物から答えを探すクイズは、追加印刷しても足りないくらいの大人気。発足したばかりのぐりんぐりん古賀のアピールには、まつり古賀会場は、ばっちりマッチしていました。



▲展示でクイズ・大根川の魚も登場

ぐりんぐりんの体験講座を中心とする掲示物をご覧になった方々は、活動を認めてくださったのか、快く寄付にもご協力くださいました。寄付のお礼に差し上げた九州産割り箸は、ほのかに木の香りがし、年輪がくっきりしています。なぜ、国産割り箸がエコかは、次号でお知らせします。

《S》

ごみ拾いに行きます～



エコけんは「るんるん」ごみ拾いで参加しました。



参加は100名を超えました!

かえっこバザール in イオンモール福津

ノースコートでの開催は、今回で2回目。多くの子ども達にかえっこバザールに参加してもらい、エコごころを広げたいと思います。

【日時】 1月19日 13:00~16:00

【場所】 イオンモール福津 ノースコート(1F)

協賛:イオンモール福津

■使わなくなった、壊れていないおもちゃを持ってきて、交換を楽しみましょう。

*ぬいぐるみは、受け入れていません。

■子どもスタッフ希望の人は、12:40にイオンホールに集合!



《Ms. W》

未来を創るインタビュー

No.19 古賀市ほたるの会

黒木 淳氏

12月初旬の肌寒い土曜日、古賀市天神にお住まいの黒木さん宅に伺いました。ちょうど、所属されている「仲が和リサイクル」の廃油石けん作りの日で、皆さんは、寒風の中、和やかに作業しておられました。

黒木さんは、平成6年に「古賀市ほたるの会」を立ち上げ、自然環境保全活動を始められました。その後、平成8年から廃油けん、EMぼかし作りをされています。試行錯誤を重ねながら、安定した品質のものがつくれるようになったそうです。黒木さんの、そのいばらない、こびない、ひょうひょうとした人間性に、いつの間にか協力者が増え、今日まで活動を続けておられます。縁の下の力持ちを実践されている、地球の応援団です。

Q. 未来のために今何が重要だとお考えですか

A. 自然環境を守るための行動、個々の行動をつないで点を線に、線をわ(環、和)に。

Q. そのためにご自身で心がけておられること

A. 廃油石けん作り (廃油のリサイクル)
EMぼかし作り (生ゴミの減量)
ほたるの会 (自然環境の保全)




未来を創るメッセージ

黙って行動 未来につなぐ!


石けんやぼかしは、古賀郵便局に置かせてもらって、販売されていますが、売り切れていることも多いです。人気なんですね。量も多くてお買い得です。部分洗いに石けん、とても汚れ落ちいいですよ。私もファンです。ちなみにエコロの森の「エコロフリマ」でも買えますよ♪

《日女》



次回のエコけん1%クラブ

1月11日(金) 15:00~1時間程度



エコロの森周辺

思いを形に

特定非営利活動法人 **エコけん**

〒811-3114 福岡県古賀市舞の里5-24-13

【TEL/FAX】092-944-6450 【E-mail】eco_ecoken@ybb.ne.jp 【URL】http://www.10.ocn.ne.jp/~ecoken